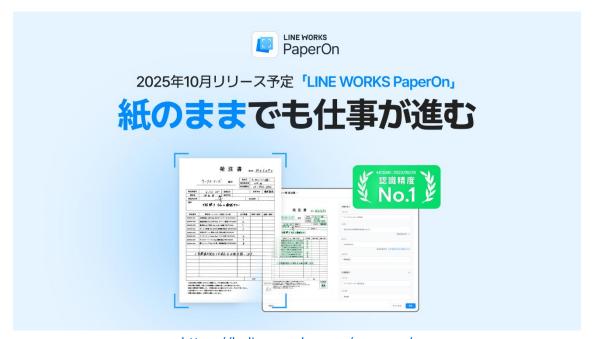
LINE WORKS

PRESS RELEASE

紙のままでも業務が進む。2025 年 10 月リリース予定の新製品「LINE WORKS PaperOn」の特設サイト開設

紙をそのままに、現場の業務効率向上へ寄与

ビジネス現場のコミュニケーションツール「LINE WORKS」や各種 AI 製品を提供する LINE WORKS 株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:島岡 岳史)は、2025 年 10 月リリース予定の「LINE WORKS PaperOn」の特設サイトを開設したことをお知らせいたします。



https://lp.line-works.com/paperon/

「LINE WORKS PaperOn」とは、紙帳票の読み取りから、修正・データ変換・システム連携・保管までをひとつのツールで対応可能な文書処理業務サービスです。現在提供している「LINE WORKS OCR」では、文書の読み取りに特化していますが、「LINE WORKS

PaperOn」は、文書の読み取りだけでなく、必要に応じて内容を自動で修正、補足することが可能となります。

■開発の背景

現場の業務では、いまでも紙は欠かせない存在です。

「紙をなくしたいけれど、実際にはなくせない」――このような声は多くの職場で聞かれます。

紙の作業指示書や帳票の処理に膨大な工数を割かれ、労働者不足の中で大きな負担になっています。タブレットや電子化の仕組みは広がりつつありますが、導入コストや運用の手間、取引 先の慣習といった壁があり、完全なペーパーレス化は簡単ではありません。

さらに「紙の方が使いやすい」という現場の実感もあり、ペーパーレス化=最適解とは限らないのが現実です。このような現状を踏まえ、紙を無理に無くすのではなく、"紙を使いながらでも効率化できる"新しいソリューションを開発しました。

紙のままでも業務をラクにしたい――そのお悩みを解決するのが「LINE WORKS PaperOn」です。

■想定ユースケース

ユースケース①: 受発注業務

FAX で届いた注文書を、その都度、手で PC に打ち込む必要がなくなります。「LINE WORKS PaperOn」に転送するだけで、自動で読み取り・仕分け・データ変換まで完了。API・CSV 連携で販売管理システムに取り込めるので、転記作業に追われることがなくなります。作業工数やミスも削減することに貢献します。

ユースケース②:現場作業員の報告資料・日報作成

紙に記入した日報をまとめて PC に入力する作業は不要となります。スマートフォンで紙の日誌を撮影し、「LINE WORKS PaperOn」にアップロードすれば、自動でデータ化され、すぐに集計や共有が可能となります。紙で書いたものが、そのままデータになり、報告や集計時間を削減いたします。

■「LINE WORKS PaperOn」の機能

主な機能紹介



主要機能 01

AI-OCRを使用した文書読み取り 機能

紙の注文書や日報から、商品名や数量など必要な情報を自動で読み取る機能。



主要機能 02

修正履歴に基づく提案機能

読み取った情報のミスや表記ゆれを 自動で整え、商品コードなど業務で 使いやすい形式に変換。



主要機能 03

モバイル版LINE WORKSアプリ からの画像アップロード *1

LINE WORKSで撮る、複合機でスキャンするだけ。業務にあわせて、 帳票を簡単取り込み。

その他の機能

- 1. 読み取り結果の修正・承認機能
- 2. 読み取り結果のCSV出力機能
- 3. メールアップロード機能
- 4. マスタデータ変換*2

- 5. API連携*2
- 6. LLMを使用した非定型帳票の項目抽出*2
- 7. 読み取り結果の自動修正*2
- 8. LINE WORKS Drive連携*2

*1 2025年冬提供予定 *2 2026年提供予定

「LINE WORKS PaperOn」とは

書類・画像の読み取りから、修正・データ変換・システム連携・保管までをひとつのツールで 対応可能な文書処理業務サービスです。

スマホや複合機から画像や PDF を送るだけで即データ化され、現場でもオフィスでも、簡単に使用できます。現場の紙をそのままに、業務効率向上に貢献します。

https://lp.line-works.com/paperon/

■会社概要

社名:LINE WORKS 株式会社

本社:東京都渋谷区桜丘町 1番1号 渋谷サクラステージ SHIBUYA タワー23階

設立: 2015年6月

代表者:島岡 岳史

資本金:55億2,000万円

URL : https://line-works.com/

※記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

※本プレスリリース記載の情報は発表日現在の情報です。予告なしに変更されることがありますので、予めご了承ください。